

ルータで誘発するポート

目標

ポート誘発は NAT 対応ルータのポート フォワーディングに類似したの設定 オプションです。それはホスト コンピューターが動的に特定のポートにトラフィックを転送するようにし、トラフィックがホストに戻るようになります。この技術情報の目的はポート誘発がであるもの、そしてはたらくどのように説明することです。

適当なデバイス

- ルータのような誘発するポートを備えているすべてのデバイス

ポートは誘発およびどのように機能しますか?である何

ポート誘発はポート フォワーディングに非常に類似したです。ポート フォワーディングはルータを通してデータの送信の組織プロセスです。ポート誘発は各ポートへスイッチの付加とのポート フォワーディングと同じです。スイッチはポートからフローするデータによってオン/オフ回ります。ポート誘発はポート フォワーディングにあるように着信ポートがいつも開いていないのでポート フォワーディングよりセキュアです。誘発するポートではポートはプログラムがアクティブにポートを使用しているとき開いています、他では閉じます。内部 IP アドレスを着信ポートを転送するために要求しないのでネットワークのどのコンピュータでも設定を誘発するポートを使用できます。複数のユーザがそれにアクセスすることを試みる場合問題があります。ポート誘発のよい例は下記にあります。

設定を誘発する既に設定されてしまったポートがあることを仮定して下さい。

1. 設定は 40 が送信される データ gets それポート 70 からに送信されて得るポート時と言います。これはコンピュータとルータの間で普通起こります。
2. ルータはトラフィックがコンピュータからのポート 40 を終了した注意し、データとすればいいのか何をに関して設定をことに示します。
3. データはそれからコンピュータのポート 70 に送信されて得ます。1 台のコンピュータだけポート 70 を一度に転送できます。
4. データがまだ前もって決定された時間数のためのポート 70 から転送されている間ポート 40 から送信される データ停止。

ソフトウェアはポートが一定のレートで転送されるように要求します。そのによって、ポート誘発は可能性のあるです。ソフトウェアがポート 40 からデータを送信し続けられない場合ルータは着信ポートを閉じ、それは作られるダウンロードを破壊します。